

オンラインカタログ抜粋:

dbk+5/Sender/M18/K2

現在: 2026-11-20

microsonic GmbH / Phoenixseestraße 7 / 44263 Dortmund / Germany / **T** +49 231 975151-0 / **F** +49 231 975151-51 / **E** info@microsonic.de
microsonic® ist eine eingetragene Marke der microsonic GmbH. Alle Rechte vorbehalten. Änderungen vorbehalten.



dbk+5 超音波式二枚検知センサー

超音波二枚検知制御の最新タイプ。

特徴

ベーシック

- 特に高性能な超音波二枚検知コントロール › 特に段ボールからプラスチック・シートまで、そして、厚さが数ミリのプレートの検査に
- 3コントロール入力 › 材質、トリガー及びティーチインの外部感度設定
- ティーチイン・オプション › 油膜と一緒に詰まったプレートの検査など
- M18ネジチューブのコンパクトなデザイン
- 一枚及び二枚の信頼性の高い検知
- ティーチインの必要なし(プラグ・アンド・プレイ)
- 二枚シート及びシート欠落出力
- 送信機と受信機との動作距離は30から70 mmまで選択可能
- トリガーのオプション › 倉庫の流れ作業でのアプリケーションに
- リンクコントロール› との設定パラメータ化可能

*dbk+5*超音波二枚コントロール

dbk+4センサーの動作範囲を超える厚さの金属シート、プラスチック・シートや段ボールをスキャンするためにデザインされました。動作の関わる原理は、dbk+4センサーと同様です。システムの主な違いは、検出する材料です。(詳細な情報は、 dbk+4 をご覧下さい)

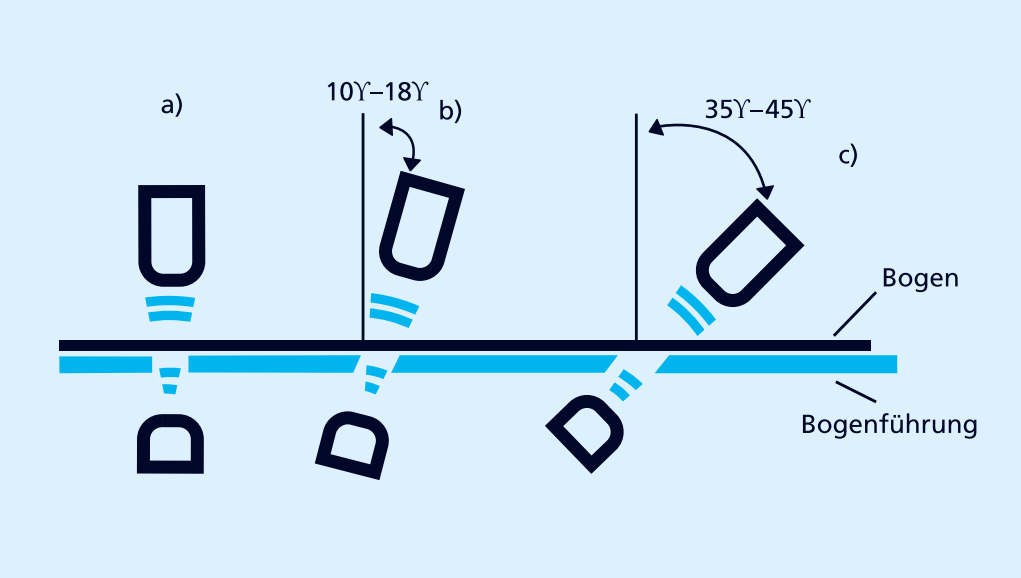
典型的な材質

dbk+5のアプリケーション領域における典型的な材質は、厚さ約2 mmまでの金属シート(金属の種類による)、厚さ数ミリまでのプラスチックシートやプリント回路基板、そして粗い段ボールカードです。

紙を検知する際、通過するシートに対してセンサーを垂直に取り付ける必要があります。しかし、金属シート、プラスチックシートやプリント回路基板の場合、dbk+5を通過するシートに対して10-18°の角度に設置するのが望ましいです。最適な角度は、試験を通して決めることが肝要です。段ボールカードは、波目に対して35-45°の角度でスキャンする必要があります。

送信機と受信機

送信機と受信機は、M18ネジスリーブのハウジングに収められており、それらは30から70 mmの距離で配置される必要があります。



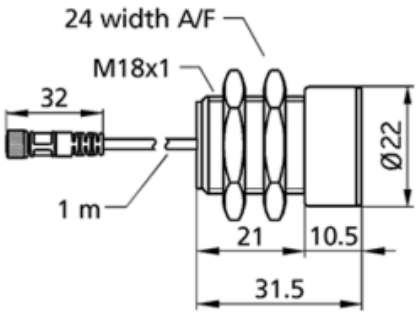
何か特別なご要望はありますか？

そんな単純な話じゃない。

弊社なら、お客様一人ひとりに合わせたソリューションを簡単に見つけることができます。お客様の用途について、ぜひご相談ください：+49 231 97 51 51-82。

dbk+5/Sender/M18/K2

スケール図



デザイン	円筒 M18
オペレーティングモード	ダブルシートkonntoro-ru
検知可能範囲	紙100 - 2,000 g/m^2, プラスチック・フィルム 5 mm厚*, ステッカー, メタルシート 2 mm厚*, 上質段ボール, ウェハー, 等
特徴	二枚検知用トランスミッター トランスミッターとレシーバーの距離選択可能 ケーブル接続

超音波 - 仕様

計測	振幅診断 パルス制御
超音波周波数	200 kHz
検知不可能ゾーン	トランスミッターとレシーバーの前7mm

ハウジング

材質	真鍮スリーブ, メッキ, プラスチック, PBT
超音波 - 変換	ポリスチレンフォーム, グラスファイバー入エポキシレジン
保護クラス EN 60529	IP 65
動作温度	+5°C to +60°C
保管温度	-40°C to +85°C
重量	50 g

テクニカルデータ

コントロール	必要なし
調整範囲	必要なし